



## 申6号

## Part②

## 2022年度冬期対策検証に基づく申し入れ

## 中央地区

## 今冬の検証が必要！

1. 刈和野駅に上り列車（5両）が停車した際、車掌の乗務員室付近が除雪されていないため指導すること。

回答：今後も部外能力等を活用し必要な教育は行っていく。

・初列車の最大両数を除雪する人と、日中の最大両数をやる人がいる。その間で降ってしまうと除雪しきれないので理解していただきたい。

・最大両数にプラスして前後の幅はもたせている。

2. 秋田駅構内、入換信号機の進路表示器が低い位置に設置されている箇所については融雪マットの設置を検討すること。

回答：融雪装置の整備については今後も優先順位を考慮し検討していくこととなる。

・設置後の維持管理やメンテナンスなど、投資効果に見合うように保線サイドと議論し、今後検討していくこととなる。

・接触限界などが絡むため高くできない。

## 津軽地区

1. 車両故障によりモーターカットを行い、乗務員から運転継続が困難である旨を輸送指令に情報提供したが運転継続し、途中駅で運休となりお客さまにご迷惑をおかけした。乗務員の情報提供による運休の判断基準を明確にすること。

回答：総合的に勘案し判断しているところである。

・乗務員からの情報をもとにすぐに指令間協議となる。施設や信通、電力に確認し情報収集したり、プレダス、前日のMCRの除雪状況を加味して判断している。

【組合】運転が困難であることを情報提供した。最も状況を把握しているのは現地にいる乗務員だ。運転士の判断をもっと判断材料にすべき。

【会社】運転士からの情報提供も判断材料になっている。MCRの除雪状況や降雪が無かったことから運転する判断をした。結果的にお客さまにご迷惑をおかけしたことは捉え返しが必要。

・モーターカットしたからといって冬に運転できないという判断にはならない。  
**何か安全か職場議論を深めよう！**

3. 深浦駅指定通路の除雪について、ウェブカメラ導入による効果と除雪回数を明らかにすること。

回答：一定の効果を得られたと考えている。

・毎朝ウェブカメラで状況を確認し、3回除雪を行った。基本的にはJARS東能代での対応となる。

・2つ設置されている。駅や構内の状況が確認できる。

・JARS東能代や東能代統括センターの連絡体制ができていた。

動き方は分かっている。引き続き声をあげていただきたい。

2. 津軽新城駅の新駅舎屋根からホームへの落雪があったため対策を講じること。また、5両とワンマン停止位置目標を統一すること。

回答：雪止めを設置し落雪対策を行ったところである。また、停止位置目標は現行どおりとする。

・計画にあり、雪止めは3月にできている。

・雪や雨が降ったことを考え、屋根があった方が良かったため現在の停目している。

・設備と調整しながら検討する。

4. GV-E400系車両のワイパーが走行中に浮き上がるため対策を行うこと。また、機関回転数異常が発生することから車両改修を行うこと。

回答：引き続き検討していく考えである。

【組合】津軽線や五能線の弘前～五所川原間で吹き溜まりが多い区間を走行するとワイパーが浮き上がってくる。雪が捌けない。運転士が速度を落とすなどして工夫して運転している。

【会社】車両の方でも認識している。設計変更となると金もかかる。

・機関回転数異常に関して、今年度中の冬前に車両改修に向けて進めている。

**来るべき厳冬期に向け、  
安全で安定した輸送を確保するため、  
確認事項をしっかりと検証していこう！**

